

環境芸術学会第22回大会 案内号

開催地：神奈川県湘南エリア
(メインスタジオを佐島マリーナにおき、Zoomを利用したオンライン開催)

開催日時：12月11日(土) 12日(日)

※作品発表については、別途設定

INDEX

RELEASE	1	■環境芸術学会第22回大会の開催にあたって 大会実行委員長 伊藤隆治
INTRODUCTION	2	■会長挨拶 高須賀昌志
INFORMATION	3~4	□大会スケジュール 第22回大会内容
RECRUITMENT	5~8	□参加申し込み方法 ■環境芸術学会第22回大会 研究発表(口頭・パネル・作品)募集
INFORMATION	9	■新規会員のご紹介
CONFERENCE	10~11	■2020年6月~2021年6月 理事会報告
CLIP		□ホームページのご案内 □メーリングリストについて □環境芸術学会 入会のご案内

環境芸術学会報 NO.32/2021 August 2021年9月14日発行

環境芸術学会事務局 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部第3研究室Time & Space内

E-mail: iead-info@iead.org <http://www.iead.org/>

発行人/高須賀昌志 編集人/酒井正 小佐原孝幸 事務局/石上城行 酒井正 小佐原孝幸 船山哲郎 宮本一行 奥田祥吾 眞浦澤侑



相模湾に注ぐ日差しを浴びるヨット

環境芸術学会第22回大会

「アート360° — 新しい情報発信 —」

会場：神奈川県湘南エリア

(メインスタジオを佐島マリーナにおき、Zoomを利用したオンライン開催)

主 催 : 環境芸術学会
協 力 : 佐島マリーナ、湘南ビーチFM

< テーマ > 「アート360° — 新しい情報発信 —」
< 大会組織 > 大会会長 高須賀昌志
実行委員長 伊藤隆治
実行副委員長 酒井正
実行委員 大森正夫 鈴木太郎 高橋綾 下山肇 田島悠史 池村明生
石上城行 小佐原孝幸 船山哲郎 宮本一行 奥田祥吾 西毅徳
菖蒲澤侑 三上己紀 三上奈美

- 大会日程 : 2021年12月11日(土)~12月12日(日)
※作品発表は12月7日(火)~12月17日(金)
- 発表場所 : Zoomによるオンライン発表、および研究発表作品の展示(会場: オリエアートギャラリー)
- 大会事務局 : 〒160-0014 東京都新宿区内藤町1-10 (株)モブ内
環境芸術学会第22回大会実行委員会事務局 伊藤隆治
e-mail: karu@wako.ac.jp

第22回「アート360° — 新しい情報発信 —」開催にあたって

大会実行委員長 伊藤隆治

昨秋、第21回湘南大会は新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、学会初のオンライン大会となりました。世の中では多くのイベントや行事が新型コロナの影響で中止となる中、環境芸術学会では対面開催を翌年(2021年)に移行し、当年は学会初のオンライン開催となりました。

対面回避として行なったオンライン大会では思いの外、多くの発見がありました。「発表内容が理解しやすい」「多様な表現が可能であった」「遠方からでも気軽に参加できる」など多くのプラス要因のコメントを頂いたことは新たなオンライン表現の第一歩と感じました。

未だ新型コロナウイルスの感染は収まることなく拡大傾向にもあります。残念なことに今年度についても昨年同様、オンライン開催をせざるを得ない状況にあります。ただ、前にも書いたように昨年度のオンライン大会によるプラス要因をこの機会に拡充させることが我々環境芸術学会が行なうべき取り組みと誰もが感じていることと思います。

オリンピックイヤー—2021年環境芸術学会大会では、今後の環境芸術学会の新たな表現を踏まえ「アート360°—新しい情報発信—」をテーマに開催いたします。「オンライン」が対面回避策ではなく、環境芸術学会の新しい表現手法として加わることを目的に第22回湘南大会を開催いたします。

ぜんぜんアフターにならないコロナ社会

環境芸術学会会長 高須賀昌志

コロナ禍にまつわる話が時節の挨拶の常になってしまった感があり、それも致し方ないと感じつつ、この騒ぎの水面下で何か大きな構造変革が進行しているように思え、その変化に適応するために何かしなければならぬのではないかと頓珍漢なことを考えてしまったりして、答えのない思考の堂々巡りに苦笑している自分にまた呆れたりしているこの頃です。

この原稿は東京2020オリンピックの閉会式が執り行われているのを横目に見ながら書いています。

ご存知の通り日本の獲得メダルは史上最多の58個にのびました。直前までオリンピック開催に反対だったマスメディアはかなり控えめに祝意を表しているように見受けられます。開催反対の逆風の中、たとえ無観客であろうともアスリートの活躍はスポーツが持つ魅力を表現するのに十分であり、心を動かされる日々を過ごさせてもらいました。果たして美術にこれほど多くの人々の心を揺さぶるパワーがあるのだろうかと思い、再び思考の堂々巡りに陥ってしまいます。しかしこれは苦笑でやり過ごすことができない重要な課題であるといえます。

昨年秋の挨拶文に『アフター・コロナの社会に以前と同じ生活に戻ることはないでしょう。私たちはすでに新たな生活スタイルを強要され、これまでの常識を捨てざるを得ない状況にあります。私たちの普遍的な価値とは一体何なのか？ということが問われる局面を迎えているように思えます。』さらに『「環境芸術」が次代の社会を切り拓く何らかの役割を担うと信じています。』と記しました。

しかし、その役割やはたらきが未だ明確になりません。その端緒を掴むためにも会員相互の交流が望まれるのだと考えます。

本年度の大会は昨年のリベンジとして対面での交流を前提に計画してきましたが、再びZoomによるオンラインリモートで実施されることとなりました。アフター・コロナを想定していましたが、まだまだコロナの猛威は収まる気配がありません。現在の状況を考えるとやむを得ない判断だと考えています。こうした状況の中でも少しでも充実した内容となるよう工夫を凝らし、伊藤隆治委員長をはじめ実行委員の皆様にご準備をお願いしております。本学会報では大会における研究発表を広く募集しております。会員の皆様におかれましては、数多くの参加をいただきますようお願い申し上げます。



江ノ島より三浦半島を望む

■第22回大会内容

□大会スケジュール

大会1日目 12月11日(土) Zoomを利用したオンライン開催

13:00 ~ 13:50	総会
14:00 ~	開会式・学会賞表彰式
14:20 ~ 15:20	学会賞受賞者記念講演会
15:30 ~ 16:30	基調講演
17:00 ~	懇親会ルームオープン
17:30 ~	懇親会

大会2日目 12月12日(日) Zoomを利用したオンライン開催

9:00 ~	研究発表(口頭)
12:00 ~	昼休憩
13:00 ~	研究発表(口頭・パネル・作品)
14:30 ~	湘南国際村屋外環境芸術展のプレゼンテーション
15:00 ~	最優秀プレゼンテーション賞発表・表彰式 閉会式

※発表件数により時間変更することがあります。最新の予定は学会ホームページをご確認ください

□学会賞表彰式 / 受賞者記念講演会

日時:12月11日(土)14:20~

本年度は環境芸術「学会賞」「奨励賞」が発表されます。それぞれの表彰と受賞者による講演会を行います。

□基調講演

日時:12月11日(土)15:20~

テーマ:「情報発信のあり方」

登壇者:^{おまえ よしき}尾前芳樹 氏(湘南ビーチFM 社長)



逗子・葉山コミュニティ放送(株)代表取締役
※湘南ビーチFM(愛称)78.9MHz

1964年 神奈川県出身
1989年 (株)ケーブルネットワーク千葉 入社
1991年 兵庫エフエムラジオ(株) 入社
2004年 エフエムインターウェーブ(株) 入社
2006年 逗子・葉山コミュニティ放送(株) 入社
2019年 逗子・葉山コミュニティ放送(株)
代表取締役就任

【湘南ビーチFMとは】

関東地方でもっとも早く開局したコミュニティ放送局。
周波数は78.9MHz、出力は20W。
1993年にジャーナリスト木村太郎氏が開局設立する。
海に近い放送局であることを生かし、「耳に優しい音楽
とトーク」をテーマに洋楽やジャズを中心に放送を行う。
同局のデザインをイラストレーター鈴木英人氏が担当。

■第22回大会内容

□研究発表 口頭発表/作品発表/パネル発表

日程： 作品・パネル発表 12月11日(土)16:00～
口頭発表 12月12日(日) 9:00～

※発表申し込み、提出データの詳細については研究発表募集ページ(p.6-8)を参照

(A) 口頭発表

発表者本人が画面共有機能を使いながらZoomで発表をおこなう。時間は発表の数にもよるが1件あたり20分ほどを予定。
口頭発表においては「優秀プレゼンテーション賞(会員部門・学生部門)」を設け、優れた発表に対して授与いたします。

(B) 作品発表

オリエ アート・ギャラリーにて作品展示

日程：12月7日(火)～12月17日(金) (12月12日 日曜日は休廊)

発表者は搬入時に撮影した会場の映像を見せながら、大会当日にZoomで発表を行う。

(C) パネル発表

PDFにしたものを事前に提出。

主催者が画面共有しながら発表者はZoomでの口頭プレゼンテーションをおこなう。1件あたり4分ほどを予定。

※画面サイズはA2横位置 2枚以内 テキストサイズは10pt以上とすること

□大会企画作品展示 — 湘南国際村野外環境芸術実験展 —

湘南国際村を舞台にした野外展示を360°カメラなどを使って記録してWeb上でVR技術を使った展覧会を実験的に開催します。詳細については後日メーリングリストでお知らせします。またホームページでも掲載します。

□懇親会

日時：12月11日(土)17:30～ (ミーティングルームは17:00オープン)

本年もZOOMを利用したリモート懇親会での開催とします。参加費は必要としません。本年度は湘南ビーチFMのサイトから湘南の地ビールセットをご購入いただけます。皆さんと同じビールで乾杯しましょう。

[Zoomによる懇親会]

参加費：無料

オプション：乾杯セット(乾杯用湘南ビール、ほか) 購入を希望される方は各自お申し込みください

購入先：湘南ビーチFMショッピングサイト
<https://www.beachfm.co.jp/store/>



□参加申し込み方法

●大会参加(視聴のみの参加も含む) 申込締め切り 11月30日(火)

<大会参加費> 1000円 参加費のお支払い方法は、Peatix内でご案内いたします

<懇親会費> 無料 オプション『乾杯セット』を希望の場合は別途個人負担

大会参加申込URL (Peatix)

<https://iead-conference2021-12.peatix.com>

※研究発表の申し込みはp.7のフォームから別途行ってください



右のQRコードからもアクセスできます

●総会参加 申込締め切り 10月31日(日)

※大会出席・欠席に関わらず、期日までにご回答ください

昨年度よりハガキの郵送による確認から専用フォームに回答する方法に変更しました。
総会の出席・欠席の確認と欠席の場合の委任状も兼ねておりますのでご協力ください。

総会参加申込URL (Google forms)

<https://bit.ly/3huxZiM>



右のQRコードからもアクセスできます

■環境芸術学会第22回大会 研究発表募集

※リモートでの開催となりますので例年とは違う部分が多いのでご注意ください。

- 研究発表は(A)口頭発表(B)作品発表(C)パネル発表、3つの方式があります。
- 1研究者が複数の研究発表をすることが可能です。
- 「概要集原稿」「大会プログラム原稿」が必要です。下記要項に従って提出して下さい。
- 今年度分も含め年会費の未納があると研究発表申込ができません。共同発表者についても同じです。納入状況についての不明点は本部事務局の岩岸までご連絡ください。
- 「研究発表登録費」が下記の通り必要となります。詳しい内容について研究発表登録費詳細をご覧ください。
- 発表に際しては学会HPの「環境芸術学会の著作権について」を参照し、著作権などの取り扱いに十分に留意すること。
- Zoom発表時の録画は行わないものとします。

※研究発表全般に関するお問い合わせは：大会事務局・伊藤までメールにてお願いいたします。

大会事務局・伊藤隆治 E-mail: karu@wako.ac.jp

※「概要集原稿」「大会プログラム原稿」に関する問い合わせは：本部事務局・岩岸までメールにてお願いします。

本部事務局・岩岸和子 E-mail: iead-info@iead.org

大会研究発表について

○大会研究発表資格

(別表1) 研究発表資格の有無と研究発表登録費

- 1) 研究発表の代表者は会員のみとする。
- 2) 発表年度も含め学会年会費の未納がない者とする。
共同研究者についても同じとする

	会員	学生会員	非会員
研究代表者	○(3,000円)	○(0円)	×(代表者にはなれない)
共同研究者	○(3,000円)	○(0円)	○(学生3,000円) ○(一般5,000円)

○研究発表登録費

- 1) 大会参加費とは別に口頭発表・作品発表・パネル発表の研究発表者は指定された研究発表登録費を学会事務局に支払う。
- 2) 研究発表を複数行う場合はそれぞれの発表について研究発表登録費を学会事務局に支払う。
- 3) 共同研究者が複数いる場合はその人数分の研究発表登録費を研究代表者が学会事務局に支払う。
- 4) 研究発表登録費の金額は会員、学生会員、非会員により異なる。(別表1)
- 5) 研究発表申し込み時に定められた金額を研究代表者が学会口座に一括して振り込む。
- 6) 研究発表を辞退した場合でも、振り込まれた研究発表費の払い戻しはされない。

- ・部会発表はパネル発表に準じて行う。研究発表登録費を支払う必要はない。
- ・徴収した研究発表参加費は研究概要を掲載する当該学会誌制作代の補助とする。

□ 研究発表申し込み方法

① 研究発表の申し込み(Google Forms)

研究発表希望者は、以下のGoogle Formsから必要事項を入力し申し込みを行ってください。
プログラム用原稿(100文字～150文字)も同時にこちらに入力してください。

研究発表申込フォームURL <https://forms.gle/gEiCLNjt6wWBd5p37>

右のQRコードからもアクセスできます



申込締め切り 2021年10月8日(金) ※期日を過ぎての受付はいたしませんのでご注意ください

② 概要集原稿(PDFデータでの提出)

「概要集原稿」は、「指定レイアウト」を学会ホームページよりダウンロードし、指示に従って作成した後、データを以下のGoogle Formsへアップロードすること。なお「概要集原稿」はPDFデータ(最大3MB)とし、指定した形式以外での提出は受け付けない。

1) 原稿提出先 <https://forms.gle/XVtsRmde2fgCSjWT8>

2) 締め切り **2021年10月20日(水)～10月22日(金)** ※期日を過ぎての受付はいたしませんのでご注意ください

③ 研究発表登録費の支払い

・研究発表登録費は概要集原稿の提出と同じタイミングで学会口座にお振込ください。

お振込日 **2021年10月20日(水)～10月22日(金)**

○振込先

■みずほ銀行根津支店

口座番号:普通 1708384

口座名義:環境芸術学会

(フリガナ:カンキョウゲイジュツガッカイ)

■ぱるる(郵便貯金口座)

口座番号:00160-0-587151

名義:カンキョウゲイジュツガッカイ

※他の金融機関からの振込の場合

金融機関コード:9900 店番:019 預金種目:当座

店名:〇一九店(ゼロイチキュウ店)

口座番号0587151

《お振り込みについての注意点》

お振込みされた方の氏名が正確に確認できるよう、必ず振込者名の先頭に会員番号をお付け下さい。

会員番号は学会より発送される各封書の宛名に表記しています。

●研究発表募集詳細

(A)口頭発表

1. 発表者(共同研究の場合は発表筆頭者)は、Zoomミーティング口頭発表ルームにおいて画面共有機能などを使用しながら発表を行い、質疑応答、討論をおこなう。
2. 発表時間は、1件について20分間(概ね、発表時間15分、質疑応答時間5分)とする。発表時間の変更がある場合は発表者数確定後、本人に連絡する。
3. 発表についての詳細は後日、発表代表者に対してメールにてお知らせします。

(B)作品発表

東京北青山にあるオリエアートギャラリーにて作品発表展を開催します。
共同研究の場合は研究代表者は、ZOOMミーティング作品発表ルームにおいて画面共有機能などを使用しながら発表を行い、質疑応答をおこなう。

一 環境芸術学会第22回大会研究発表作品展示(仮称)一

日程：2021年12月7日(火)～12月17日(金) 12月12日(日)休廊

時間：11:00～17:00(最終日15:00まで)

搬入：12月6日(月)13:00～14:00 その後展示作業を行う

搬出：最終日展示終了後

出展条件

作品サイズ

立体作品 縦・横それぞれ1辺50cm以内に収まる作品とする。

高さは自由だがギャラリー天井高2,300mmを考慮すること。(台座は含まず)

平面作品 縦100cm・横100cmのスペースに収まる作品とする。

立体・平面作品のいずれも、重量は30kg程度以内とする。

作品素材 自由

展示方法 立体作品の台座については、大きさによっては大会事務局で用意することも可能です。
その際は出展申込書にその旨を必ず記入し、数と大きさは大会事務局と相談すること。
平面作品については、壁面にピクチャーハンガーもしくはイーゼルにより展示します。数と大きさは大会事務局と相談すること。天井高は2,300mm

展示作業は大会事務局でおこなう。ただし搬入・撤去は出品者本人がおこなうものとする。なお、台座の利用の際やレイアウトや設営、展示の管理の特殊なもの、また電源や機材が必要なものは大会事務局との事前調整が必要。

○作品発表の搬出入については、下記の事項を基本とします。

作品展示についての詳細は、後日事務局よりメールにてご案内します

・直接搬入 2021年12月6日(月) 13:00～14:00 ※実行委員会が6日14:00～展示を行う

・業者委託搬入 2021年12月6日(月) 午前中着 ※各自、大会事務局と調整して展示を行う

作品送付先 〒107-0061 東京都港区北青山2-9-16-AAビル1F オリエアートギャラリー

TEL 03-5772-5801 ※梱包表面、または伝票に「環境芸術学会作品発表」と記載のこと。

・搬出 2021年12月17日(金)展示終了後 基本的には出品者が搬出作業を行う

(C)パネル発表

1. 発表者が作成したパネルに相当するものを大会ホームページにて発表する。
2. 発表者(共同研究の場合は発表筆頭者)は、Zoomミーティングパネル発表ルームにてパネルと同じ内容のPDFデータを使い、口頭にてプレゼンテーション、質疑応答をおこなう。(4分程度、PDFデータは事前に事務局へ提出する)
3. パネルの内容
画面大きさ：A2サイズ 横位置 枚数：発表件数1件につき2枚以内
表題：1枚のパネル左側上部半分に60mm幅の帯を設け、表題、発表者氏名、所属を表すものとする。副題をつけても良い。
4. 提出データはPDF、詳細は後日、発表代表者に対してメールにてお知らせします。データ提出は大会3週間前を予定。

新規会員のご紹介 / NEW MEMBERS 2020年7月～2021年6月 (各会員の情報は入会時点のものです)

○正会員

本田 博通	WALL ARTコミュニケーション/株式会社SCOPE
森 大介	建築デザイン/株式会社森建築デザイン事務所
趙 採沃	現代アート、ファッション/倉敷市立短期大学服飾美術学科 准教授
三上 己紀	エネルギー・環境ジェロントロジー/一般社団法人 社会科学研究機構 本部 常務理事
森本 祥一	地域デザイン、芸術経営学、芸術社会学/専修大学経営学部 教授
石渡 圭子	美術教育/横浜国立大学国際社会科学府研究院 准教授
槌屋 洋亮	地域開発、デジタルファブリケーション、シビックテック/青山学院大学附置情報メディアセンター 助教
若杉 真魅	絵画/群馬県立館林美術館
瀧 大補	メディアアート/株式会社U.
濱田 菜々	テキスタイル造形/神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科 実習助手
花島 彩乃	デザイン/実践女子大学教職センター 助手
菊地原 真理亜	絵画/京設工業株式会社 四日市事業所
金木 伸浩	ロックバラシシングアート/市民講座(海洋教育)主催
永野 聡	ソーシャルインベーション、ソーシャルデザイン/立命館大学産業社会学部 准教授
曾根 博美	現代美術、アートとコミュニティ/東京家政大学家政学部造形表現学科 准教授
河野 良平	建築歴史、意匠/京都橘大学工学部建築デザイン学科 准教授
鴨志田 隼輔	風景計画学、環境芸術/東京大学 農学生命科学研究科森林科学専攻 博士課程1年
荒川 朋子	繊維造形、テキスタイルデザイン、世界の染織文化/静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科 准教授
藤井 紘司	環境社会学/千葉商科大学人間社会学部 専任講師
一ノ瀬 健太	文化経済、アートマネージメント、地域創生、創造都市、文化政策 東京藝術大学大学院美術研究科芸術学科 美学第一研究室後期博士課程6年

○学生会員

林 晨曦	パブリックアート/東海大学芸術学研究科造形芸術専攻 修士1年
胡 璇	アートプロジェクト/神戸芸術工科大学大学院 1年生
山田 彩七光	空間デザイン/東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻 修士1年
土田 恭平	空間デザイン/東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻 修士1年
中山 夢音	空間インスタレーション/東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻 修士1年
武藤 琴音	空間デザイン/東京藝術大学美術学部デザイン科 修士1年
煙山 千夏	芸術工学、工学技術を用いた造形表現 新潟大学大学院自然科学研究科電気情報工学専攻人間支援科学コース 博士前期課程1年
藤間 勝哉	インタラクティブアート、メディアアート 新潟大学大学院自然科学研究科電気情報工学専攻情報工学コース 博士前期課程1年

理事会報告 2020年9月～2021年6月

□環境芸術学会2020年度第3回理事会議事録

日時:2020年9月27日(日)10:05～12:37

実施方法:オンライン会議(Zoom)

参加者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、相澤 孝司、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、田中 ゆり、田島 悠史、高橋 綾、竹田 直樹、池村 明生、前田 尚武、山田 良、橋本 学、浜地 孝史、石上 城行、船山 哲郎、宮本 一行、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑(記録)、三上 己紀

[報告事項]

- ・事務局より
入会2名、退会5名(うち2件が賛助会員)について報告され、承認された。
- ・委員会より
編集委員会
大会発行予定の学会誌の進行状況について報告された。
- 学会誌委員会
本年8月締め切り分の進行状況について報告された。
- 広報委員会
今後の広報活動(HP,SNS)について方針が提案された。

[協議事項]

- ・第21回総会について
第21回総会資料(案)に基き内容について協議し、了承された。
- ・第21回 湘南大会について
大会の内容についてオンライン大会ということを踏まえた具体的な提案について協議を行った。
- ・学会賞について
学会賞委員会より、功労賞:三田村峻右氏、奨励賞:小佐原孝幸氏、との推薦があり協議の結果、理事会として承認した。
- ・若手研究者展開催について
2020年6月開催であった日程を同年12月へと変更し、交流プログラムについてもWeb中継などの案が検討されていることが報告された。
- ・オリエギャラリー企画展『ロボット展 樋口雄一とアートな仲間たちー(仮題)』について
2021年1月に樋口雄一氏を交えた展示についての提案があり、学会とのかかわりについてなどの意見交換がなされ開催が承認された。
- ・その他
湘南大会準備にかかわって地元企業とのコラボレーションが提案されており、今後の展開も含めた情報共有がなされた。
- 学会賞委員会より各大会で発表された作品への作品賞のようなものを検討してはどうか、との提案がなされ、運営委員会で検討することが確認された。
- オンラインでの大会ということを踏まえて、広く学生や一般にも公開する方向で工夫してはどうかという意見があり、了承された。

□環境芸術学会2020年度第4回理事会議事録

日時:2020年10月17日(土)19:00～21:20

実施方法:オンライン会議(Zoom)

出席者:高須賀 昌志、大森 正夫、相澤 孝司、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、田島 悠史、高橋 綾、竹田 直樹、國安 孝昌、山田 良、橋本 学、谷口 文保、浜地 孝史、石上 城行、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑、三上 己紀

[報告事項]

- ・事務局より
入会退会について 3名の入会が承認され、2名の退会が報告された。
- ・委員会より
編集委員会
大会発行予定の学会誌の進行状況とデジタルブックでの発行することが報告された。
- 学会誌委員会
8月締め切り分の進行状況について報告がされた。
- 広報委員会
大会HPについて、大会情報、会員作品等の写真を更新することが確認された。

[協議事項]

- ・第21回 総会について
総会資料案をもとに総会の内容について協議し、承認された。
- ・第21回 湘南大会について
プログラム案をもとに1日目と2日目の流れについて検討し、全プログラムのついてオンライン大会ということを踏まえて、機器の操作を丁寧に説明することなどが確認された。
- ・12月 研究発表補助事業「IEAD企画 若手研究者展(仮)」について
6月開催予定のメンバーで開催できることが報告され、(オンライン・ギャラリートークを含む)具体的な準備状況を共有した。
- ・1月「樋口 雄一 とアーティストたちのロボット展 -新しい環境芸術の広がり-」について
出展者の確定が報告されるとともに、富士ゼロックスからの印刷技術協力についての提案がなされ、承認された。
- ・学会の免責事項について
オンライン大会開催に伴い学会が発信するコンテンツに関する学会の免責事項明示について、提案資料に基づき協議され、大会については必要な対策をとることが確認され、その他のコンテンツについては、今後検討した後に掲載にかかわる文書を作成することが確認された。

□環境芸術学会2020年度第5回理事会議事録

日時:2020年12月12日(土)13:00～16:00

実施方法:オンライン会議(Zoom)

出席者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、高橋 綾、竹田 直樹、前田尚武、橋本学、谷口 文保、石上 城行、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑

[報告事項]

- ・事務局より 入会者2名について承認された。
- ・委員会より
編集委員会
学会誌第25号が発行されたことが報告された。
- 学会誌委員会
本年8月締め切り分について、投稿論文8本について査読が終了したことが報告された。関連して、制作研究報告の査読についての難しさが示され、投稿内容カテゴリー等について大森学会誌委員長が叩き台を提起することが確認された。
- 広報委員会
若手研究者展が学会HPにて広報されていることが報告された。
- ・「第21回湘南大会」実施報告についてアンケート結果に基づいて報告がなされ、概ね好評であったが、一部、次回大会に向けて検討を要する点があることが確認された。
- ・「第30回格子欠陥フォーラム」について
田中ゆり理事より、学会への広報、後援の依頼があり、会長・副会長・事務局の検討のもと後援を承認し、学会でも広報したことが報告された。
- ・事業委員会
12月 研究発表補助事業「環境芸術学会企画若手研究者展」について無事に搬入、展示が始まったことが報告され、本日16:00より会場と遠隔地出展者によるギャラリートークを実施することが共有された。
- 文化庁芸術文化活動継続支援事業について
今年度の大会開催費を当該支援事業へ申請したことが報告された。
- [協議事項]
・1月「樋口 雄一 とアーティストたちのロボット展 -新しい環境芸術の広がり-」について
標記の展覧会について準備状況が報告され、展覧会DMについては、富士ゼロックス協力による各出展作品の特色印刷DMを制作することや、作品販売額について協議が進んでいることが共有された。
- ・第21回湘南大会の事後処理について
次年度大会実施の可能性にかかわる現状が報告され、引き続き感染状況をみながら実施方法を検討していく事が確認された。オンライン大会が好評であったことを受け、口頭発表を中心とする「春季大会」を開催することが提案され、秋田公立美術大学チームに当日の運営を依頼し、開催することが決定した。
- 大会特設ページで公開されている発表内容の扱いについて協議し、いったん非公開とすることが承認された。
- ・その他

次項へ>>>

理事会報告 2020年9月～2021年6月

功労賞受賞者の三田村先生について、名誉会員となっていたことが提案され承認された。

来年6月のオリエギャラリーでの事業について引き続き事業委員会で検討することが確認された。

学会事務局住所の表記が変更になることが報告され、順次表記を修正していく事が確認された。

□環境芸術学会2020年度第6回理事会議事録

日時:2021年2月20日(土)19:00～21:30

実施方法:オンライン会議(Zoom)

出席者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、相澤 孝司、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、田島 悠史、高橋 綾、竹田 直樹、平戸 貢児、前田尚武、山田 良、橋本 学、谷口 文保、石上 城行、船山 哲郎、宮本 一行、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑、三上 己紀

[報告事項]

・事務局より 入会について7名の新規入会が承認された。

・委員会より

編集委員会

2021年春発行の学会誌(26号)について編集構成(案)が提案され、承認された。

学会誌委員会

2020年8月締め切り分の進行状況について、制作研究報告が7本通過していることが報告された。

事業委員会

「樋口 雄一 とアーティストたちのロボット展 -新しい環境芸術の広がり-」について終了の報告がなされた。

[協議事項]

・第21回 湘南大会のアンケート結果について

アンケート結果を踏まえて大会運営について意見交換した結果、学会報など紙媒体の配布物についてのオンラインへの移行が提案され、学会誌以外についての業務(研究発表申し込み等)のオンライン化についても検討していくことが確認された。

・2021年度春季大会について

春季大会についての具体的な実施方法(オンラインによる申し込みや原稿提出及び、デジタルブックの作成等)が提案され、基本的な方針が了承された。

・第22回 湘南大会について(伊藤)

オンラインと対面の両方を考えて、基本的には当初計画していた21回大会の内容で検討していることが報告された。併せて、アートと教育をテーマとする地域と連携したワークショップを計画していることも共有された。

・その他

「環境芸術」誌への投稿(論文と作品)について 査読回数について検討され、再提出の場合の投稿料の減額を検討していくことなどが確認された。更に発表の種類について検討し、丁寧な検討や議論が必要である旨の指摘があり、いずれも継続審議とすることが確認された。

大漁旗アート展2011-2021(仮題)について 6月のオリエアートギャラリーでの展覧会について事業委員会より提案され了承された。

□環境芸術学会2021年度第1回理事会議事録

日時:2021年4月11日(日)10:00～11:30

実施方法:オンライン会議(Zoom)

出席者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、小佐原 孝幸、阿部 芳久、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、田中 ゆり、高橋 綾、竹田 直樹、平戸 貢児、前田尚武、山田 良、藤 浩志、橋本 学、谷口 文保、浜地 孝史、石上 城行、船山哲郎、宮本 一行、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑、三上 己紀

[報告事項]

・事務局より 入会8件、退会2件について報告、承認された。

・委員会より

編集委員会

2021年春発行の学会誌作のスケジュールを共有、確認した。

学会誌委員会

2021年2月締め切り分について論文6本の投稿があったことが報告された。

広報委員会

学会HPトップを春季大会に差し替えることが確認された。

文化庁芸術文化活動継続支援事業への申請について

認められなかったことが報告された。

[協議事項]

・2021年度春季大会について

聴講参加申し込み方法などについて提案され協議の末、承認された。

当日のスケジュール並びに優秀プレゼンテーション賞について提案があり、承認された。

・大漁旗アート展2021について

16名の出展エントリーがあり、オリエアートギャラリーとの調整についても確認された。

・第22回 湘南大会について

感染症拡大状況を鑑み、現時点からオンライン開催で実施することが提案され承認された。

開催地:神奈川県湘南エリア、開催方法:オンラインとし、日程については12月中旬までを候補に調整することが確認され、併せてリアル作品展示、ワークショップ、地元企業とのコラボレーション等の企画は実現する方向で進めることが了承された。

・休会申請への対応について

会員から休会申請の申し出を受け、かかわる規定など諸条件を検討することが確認された。

□環境芸術学会2021年度第2回理事会議事録

日時:2021年6月20日(日)10:00～11:30

実施方法:オンライン会議(Zoom)

出席者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、田島 悠史、高橋 綾、平戸 貢児、國安孝昌、山田 良、藤 浩志、谷口 文保、八木 健太郎、浜地 孝史、三上 己紀、三上 奈美、石上 城行、宮本 一行、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑

[報告事項]

・事務局より

入会について 入会希望6名について承認された。

・委員会より

編集委員会 2021年春発行の26号が完成し、発送作業に進むことが報告された。

学会誌委員会 2021年2月締め切り分について1本が掲載可、他が再査読中であることが報告された。

広報委員会 大漁旗アート展について発信が行われたことが報告された。

2021年度春季大会のアンケート結果について アンケートの概要が報告され一部要望があったが、概ね好評であり来年度以降も春季大会を行っていくことが確認された。

事業委員会 大漁旗アート展2021の会場風景写真をもとに実施状況が報告された。

[協議事項]

・正会員の休会に関する規定について

正会員の休会に関する規定の文言が提案され内容を協議した結果、承認された。

・第22回 湘南大会について

大会の概要についてオンライン大会を充実させるプランを提案、協議を行って基本的な方向性が確認された。

・学会報32号の作成について

学会報についてオンライン化する方向の提案があり、協議の結果、7月20日を原稿〆切としてPDFで作成することが承認された。

・学会誌2021秋号について

Worksへの推薦やプロジェクトレビュー・ブックレビューの案を募集することが確認された。

・「環境芸術」誌への投稿(論文と作品)について

投稿規定一部修正について提案があり協議した結果、英字表記や査読回数などについて確認した。作品紹介(現Works)については継続協議とすることが確認された。

□会報への投稿について

会員の皆様からの投稿をお待ちしています。環境芸術に対するお考えやご意見、会員に関係するイベントや展覧会の情報など事務局までお寄せ下さい。投稿原稿(写真も可)は電子メール等によるテキストデータをお願いいたします。
*投稿原稿の送付先および、お問い合わせは事務局メールアドレスまで。

□ホームページのご案内

<http://www.iead.org/>

IEADホームページでは会員参加の個展、イベントなど予告情報、活動報告などを掲載させていただきます。DM、ポスターなども掲載が可能ですので、ご投稿下さい。会員の情報投稿など、詳しいインターネット活用の規則は事務局のページに掲載してあります。

□メーリングリストについて

環境芸術学会では、メーリングリストを開設しております。会員間での情報交換の場として活用して下さい。まだメーリングリストが届いていない方は事務局アドレス iead-info@iead.orgまでご連絡下さい。

○環境芸術学会メーリングリストアドレス

iead@iead.org

※上記のアドレスにメールを送信するとメーリングリスト登録済みの全会員に転送されます。メーリングリストにより送信されたメールに対し直接返信メールを送ると、再びメーリングリスト全会員に転送されますのでご注意ください。

※メーリングリストへの登録は入会申し込み書に記載されたアドレスに基づいて事務局がおこなっております。

○環境芸術学会事務局 E-mail アドレス

iead-info@iead.org

※事務局へのお問い合わせ、要望などは上記のE-mailアドレスに送信して下さい。

□環境芸術学会 入会のご案内

○入会申込方法

ホームページ入会案内にある所定の入会申込書をダウンロードしてご記入の上、事務局までメールにてお送り下さい。

○環境芸術学会事務局

E-mail: iead-info@iead.org

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学美術学部デザイン科 第3研究室

Time & Space内

○入会金および会費

・正会員(年額)12,000円

・正会員入会金(申込時)5,000円

・学生会員(年額)5,000円

(博士後期課程在籍者は正会員となります)

・賛助会員(年額)一口 50,000円

※入会承認は2ヶ月に1度開かれる理事会にて行われます

その後、事務局よりご連絡差し上げます。

○振込先 (研究発表登録費もこちらにお振り込みください)

■みずほ銀行根津支店

口座番号:普通 1708384

口座名義:環境芸術学会

(フリガナ:カンキョウゲイジユツガッカイ)

■ぱるる(郵便貯金口座)

口座番号:00160-0-587151

名義:カンキョウゲイジユツガッカイ

※他の金融機関からの振込の場合

金融機関コード:9900 店番:019 預金種目:当座

店名:〇一九店(ゼロイチキュー店)

口座番号0587151

《お振り込みについての注意点》

お振り込みされた方の氏名が正確に確認できるよう、必ず振込者名の先頭に会員番号をお付け下さい。(会員番号は封書の宛名に表記しています。)

●年会費納入のご案内

年会費に関すること(未納状況の確認など)は会計担当までご連絡ください。

事務局員会計担当 岩岸 E-mail: from-jimu@iead.org